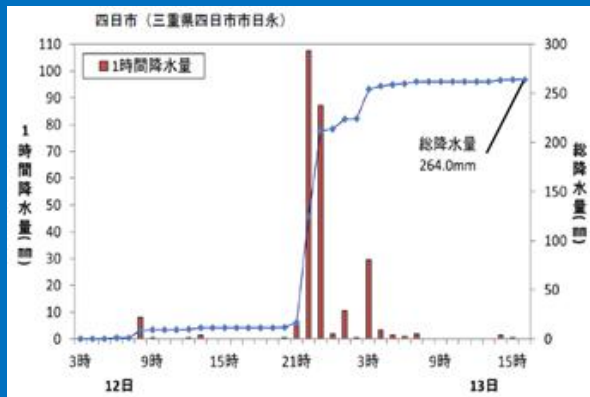


～浸水想定区域内の地下施設を所有・管理されている方へ～ 地下施設の浸水対策できていますか？

令和7年9月に発生した四日市市の地下駐車場の冠水被害は、観測史上最大の短時間集中豪雨に起因するものですが、こうした「異常気象」と言われる豪雨は増加しており、いつどこで起きてもおかしくありません。

(令和7年9月12日から13日にかけての大雨に関する三重県気象情報(津地方気象台))



以下のポイントを参考に、地下施設の浸水対策が十分か再確認し、必要な対策を行ってください。

1. 「ハザードマップ」を確認しましょう

市町が公表しているハザードマップを見て、洪水・内水・高潮で想定される浸水深が何センチか、確認しましょう。

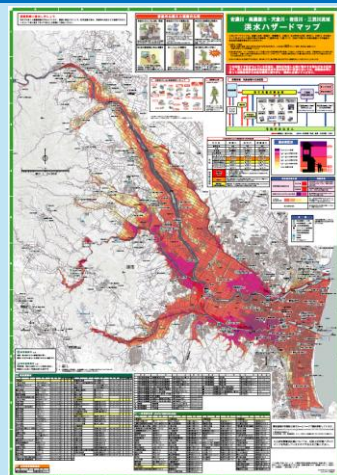
2. 防災情報を入手しましょう

三重県公式防災アプリ「みえ防災ナビ」や、県や市町の防災メールなどを利用して、河川や気象などの防災情報をリアルタイムに入手しましょう。

3. 施設の浸水対策を確認しましょう

想定される浸水に対応できる、浸水防止設備の整備や、設備が故障していないか、避難計画ができていないか確認しましょう。

- 例) ●豪雨や洪水時の対応を定めたマニュアルや計画はあるか？
●止水板などの設備を保有しているか？
●施設の出入口が浸水想定よりも高い位置にあるか？



(ハザードマップの例: 津市・洪水)

4. 最新の対策を確認しましょう

「四日市市地下駐車場施設復旧検討委員会 最終とりまとめ」に、最新の浸水対策や、対策を考える上で重要なポイントが記載されています。

- ◆ハード面の対策例：止水板の自動化、浸水センサーの配備、排水ポンプや非常用電源の強化 など
- ◆ソフト面の対策例：訓練の実施、防災業務計画の見直し、閉鎖基準の設定 など



「みえ防災ナビ」のダウンロードはこちら！

5. 避難や浸水防止の計画やマニュアルを用意しましょう

「地下街等に係る避難確保・浸水防止計画作成の手引き(洪水、内水、高潮編)(平成29年1月 国土交通省)」を参考に、いざというときの計画やマニュアルを用意しましょう。



(地下出入口の止水板(手動)と出入口のかさ上げ)

(問合せ先)

防災全般の相談: 防災対策部防災対策総務課 059-224-2181 btsomu@pref.mie.lg.jp

技術的な相談: 県土整備部施設災害対策課 059-224-2674 saigaip@pref.mie.lg.jp